

平成20年度 決算報告書

国立大学法人 埼玉大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	6,344	6,344	0	
施設整備費補助金	705	711	6	(注1)
船舶建造費補助金	0	0	0	
施設整備資金貸付金償還時補助金	0	0	0	
補助金等収入	58	79	21	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	37	37	0	
自己収入	5,148	5,142	△ 6	
授業料、入学料及び検定料収入	5,043	5,035	△ 8	(注3)
附属病院収入	0	0	0	
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	105	107	2	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	676	818	142	(注5)
引当金取崩	0	0	0	
長期借入金収入	0	0	0	
貸付回収金	0	0	0	
承継剰余金	0	0	0	
旧法人承継積立金	0	0	0	
目的積立金取崩	80	69	△ 11	
計	13,048	13,200	152	
支出				
業務費	9,670	9,311	△ 359	
教育研究経費	9,670	9,311	△ 359	(注6)
診療経費	0	0	0	
一般管理費	1,902	1,949	47	(注7)
施設整備費	742	748	6	(注8)
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	58	79	21	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	676	787	111	(注10)
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	0	0	0	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
計	13,048	12,874	△ 174	
収入-支出	0	326	326	

○予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備費補助金については、平成20年度補正予算により6百万円の収入増により、予算額に比して決算額が6百万円多額となっています。
- (注2) 補助金等収入については、新たに研究拠点形成費等補助金が採択されたことにより、予算額に比して決算額が21百万円多額となっています。
- (注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、入学志願者の減少などにより、予算額に比して決算額が8百万円少額となっています。
- (注4) 雑収入については、建物等一時貸付料収入の受入増などにより、予算額に比して決算額が2百万円多額となっています。
- (注5) 予算段階では予定していなかった民間機関等からの受託研究等の受入、科学研究費補助金間接経費の受入があったため、予算額に比して決算額が142百万円多額となっています。なお、決算額には前年度以前における産学連携等研究収入に係る繰越額のうち、当年度に使用した9百万円を含んでいます。
- (注6) 教育研究経費については、資産購入の見直し及び人件費が見込みより少なかったことなどにより、予算額に比して決算額が359百万円少額となっています。
- (注7) 一般管理費については、建物改修及び学生募集等経費が見込みより多かったことなどにより、予算額に比して決算額が47百万円多額となっています。
- (注8) (注1)に示した平成20年度補正予算による6百万円の収入増により、予算額に比して決算額が6百万円多額となっています。
- (注9) (注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が21百万円多額となっています。
- (注10) (注5)に示した理由等により、予算額に比して決算額が111百万円多額となっています。

○損益計算書との集計区分の相違について

- (1) 業務費の教育研究経費には、損益計算書の教育経費、研究経費及び教育研究支援経費が含まれ、寄附金、施設整備費、補助金等を財源とする費用は含まれていません。
- (2) 損益計算書の役員人件費は、業務費の一般管理費に含まれ、教員人件費及び職員人件費は、業務費の教育研究経費、一般管理費、産学連携等研究経費及び寄附金事業費等にそれぞれ含まれています。